

安全・景観・環境を提案する"群交協"

第80号

群交協だより

URL:<http://www.gunkoukyou.com/>

令和4年1月10日 発行

発行
群馬県交通安全施設業協同組合
前橋市大手町1-2-6 ☎027-223-3343

発行責任者 久保田 雅之
編集発行人 須田 剛

群馬県交通安全施設業協同組合

理事長 久保田 雅之



明けましておめでとうございます。皆様各位におかれましては穏やかな新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

また、日頃より組合事業運営に対しまして、多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響でほとんどの行事が中止となりました。先般の第四十一回通常総会も感染防止の観点から、規模縮小、書面表決とし異例のスタートとなりました。このような状況の中でも関係各府、関係各位、会員の皆様には変わらぬご指導と、ご支援をいただき重ねて感謝申し上げます。

『新型コロナウイルス感染症』の終息は最重要課題ですが、交通弱者を巻き込む悲惨な事故も未だに後を絶ちません。交通事故の無い誰もが安心して暮らせる安全な社会の実現に向け交通安全施設への先行投資は、唯一無二

群馬県知事 山本 一太



明けましておめでとうございます。

群馬県交通安全施設業協同組合の皆様には、心新たに輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症への対応につきまして、多大なご尽力をいただいている医療関係者の皆さま、また、感染拡大防止や社会経済活動の回復に向けてご協力をいただいております。皆さまに深く感謝を申し上げます。

昨年は、感染症から県民の皆さまの命と健康を守るため、保健所や医療提供体制の強化をはじめ、県営大規模ワクチン接種センターをいち早く立ち上げ、各市町村とも連携し全国トップクラスのスピードでワクチン接種を進めるなど、さまざまな対策に全力で取り組んでまいりました。

また、全国に先駆けて「ぐんまワクチン手帳」を活用した県内の旅行促進策「愛郷ぐんまプロジェクト」や飲食店等への応援のためのプレミアム食事を販売するなど、地域経済の早期回復に向けた対策にもスピード感を持って対応してきました。

コロナ対策は長期戦となります。引き続き、県民ならびに事業者の皆さまのご理解とご協力をいただき、力を合わせ、感染防止と地域経済を回していくという、この2つを両立できるよう、油断することなく、しっかりと取り

組んでいきたいと思っております。

本年は、新・総合計画ビジョンで掲げた二十年後の本県が目指す姿「すべての県民が、自ら思い描く人生を生き、幸福を実感できる社会」を実現するための取り組みをさらに加速させ、新たなチャレンジの年にしていきたいと考えています。

新たな時代を切り拓く「始動人」を育成し、群馬ならではの新しい学びを推進する教育イノベーション、災害やパンデミックに強い群馬の構築に注力していきます。また、スポーツや文化芸術による地域振興、地域資源を生かした観光、ぐんま暮らしのブランド化や外国籍の県民の皆さまとの共生・共創などさまざまな課題に取り組めます。さらには、県民の皆さまの利便性を高め、地域が直面している問題を解決するため、デジタル化の取り組みを加速化していきます。

今後も、県民の皆さまの命と健康、暮らし、経済を守ると同時に、心豊かな生活によって誇りと幸福感を持てるよう全力疾走で取り組んでまいります。

新しい年が、貴組合の皆さまにとって、実り多き素晴らしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

令和四年一月一日

何よりも代えがたいと思います。私たち組合員一同は、道路行政に視認性の良い道路標識、走り易い道路区画線、強固な防護柵等々品質の高い仕事を納めることで、『道路利用者の皆様に喜んでいただき、社会に役立つ仕事をすれば結果として事業が発展する』という商売の基本に立ち返り、顧客ニーズと多様化、高度化する社会課題を的確にとらえ、より快適な環境づくりが出来るように、なお一層の努力と研鑽を続けたいと存じます。

結びに建設業が希望に満ち溢れ会員企業が益々のご発展を遂げられるように皆様と共に歩んでまいりたいと存じます。

本年も変わらぬ、ご指導ご支援をお願い申し上げます。

令和四年一月一日

県土整備部との 意見交換

令和三年九月三日(金)に群馬県県土整備部の皆様とWeb形式にて、意見交換を行いました。

当組合からは、久保田理事長をはじめ、各部会理事が出席し、県からは眞庭宜幸技監、後藤剛建設企画課長、木内弘二交通安全対策室長に出席していただきました。

意見交換では、交差点付近のライン維持補修や道路案内標識板の標記及び退色の調査などが議題に上がりました。

組合からは、道路案内標識板における広角プリズム型の標準化などを要望しました。また、久保田理事長から「今後も地域の安心、安全の守り手としての自覚を持ち、関係機関との連携を図り、地域発展の開発に必要な社会資本整備事業の推進に努められるよう知識・技術の研鑽に励み、地域社会に貢献するとともに行政からのニーズに品質の高い仕事で応えていきたいと思う。」との発言がありました。

眞庭技監からは、ことし六月に千葉県八街市で下校中の児童が大型トラックに追突された事故に触れ「危険個所の対策は急務である。皆さんには優れた技術力を存分に活かし、県の良きパートナーとして、また地域の安全・安心の守り手として、引き続き協力をいただきたい」とのご意見をいただきました。

佐藤基金への寄付

令和三年十二月八日(水)、交通事故により扶養者を失った子どもたちへ奨学手当などの給付を行う佐藤交通遺児福祉基金の創立五十周年感謝状贈呈式が開かれました。当組合は長年わたり寄付を続ける団体として、清水昭芳理事長より感謝状を拝受しました。

また、令和三年十二月十三日(月)に改めて、一九万二千八四〇円を寄付させて頂きました。寄付金の受贈式は県庁昭和庁舎で行われ、久保田理事長から木内弘二常務理事に寄付金を手渡し、木内常務理事から感謝状をいただきました。

木内常務理事から「遺児となった子どもたちが健やかに成長してゆけるよう、今後も支えてゆくの、引き続きご支援を賜りたい」とのお話をいただきました。

当組合では毎年恒例のつり大会で寄付を呼び掛け、募金及び模擬店の売上を寄付させて頂いております。本年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、つり大会は中止となりましたが、組合内に募金箱を設置し、寄付を受けました。

今後も、できる限り子どもたちのために寄付を継続してまいりたいと思っております。



路面標示技能検定

令和三年八月五日(木)に、伊勢崎市にある群馬県職業能力開発協会の技術検定場で、「厚生労働大臣認定の国家試験である『路面標示施工技能士』単一等級の実地試験が行われました。

今回は、十八名が資格取得に挑みました。実地試験は、作図と塗装作業を行い検定員による採点が行われました。

新型コロナウイルス感染症防止対策と八月の猛暑が重なる厳しい状況となり、検定員のいる状況下で緊張するなか、能力を發揮する事が難しい条件での試験となりました。

九月五日(日)に行われた学科試験とあわせて、十三名が路面標示施工技能士に合格となりました。

これからも組合員一同、安全に工事を施工出来る人材育成を目指すと共に、責任ある技能士として研鑽を積んで参りたいと思っております。



青年優秀施工者表彰

当組合から群馬ライオン企画株式会社 社の曾我涉さんが令和三年十月一日に「建設ジュニアマスター」を受賞しました。

国土交通省では、特に優秀な技術・技能を持ち、後進の指導・育成等に多大な貢献をされている建設技能者の方々を対象として、優秀施工者(建設マスター)と、今後更なる活躍が期待される青年技術者の方々を対象とした青年優秀施工者(建設建設経済局長顕彰(建設ジュニアマスター))を実施しています。



■組合員

ダイケンテクノ(株)・(株)中井産業・富友産業(株)・(株)三積商事・(株)サンテック・サン(株)・(株)信交・(株)ヒロタ・新日東(株)・富士技工(株)・(有)高崎保安機材・共進安全(株)・群馬ライン企画(株)・(株)コムテックス・五菱産業(株)・昭和サイン(株)・中央ライン(株)・(株)日栄ライン工業・(株)日装・マーケティングウェイ(株)・(株)三山・(株)友邦

■賛助会員

(株)アークノハラ那須営業所・(株)吾妻商会交通用品部・アトミクス(株)道路事業部・岩澤建設(株)群馬支店・岳南光機(株)・信号器材(株)北関東営業所・新道路企画(有)桐生支店・スリーエムジャパ(株)トランスポートーションセンターフティ事業部・積水樹脂(株)群馬工場・燕振興工業(株)・日鉄防食(株)道路資材グループ・日之出水道機器(株)埼玉営業所・扶桑工業(株)群馬営業所・ヨシモトポール(株)関東支店